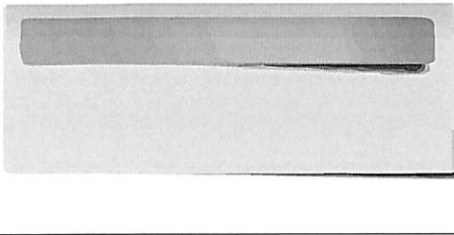


労働福祉センターに関すること



全体に関すること

【更新の方向性について】

- センターは規模縮小
- 機能を半分ずつ更新する方法
- 若者就労支援の場
- この町だからこそできる、子育て支援の策がある。しんどい親子が来る可能性は大
- 若い人が来ても支援して行ける町（自立支援策の強化）が必要
- 出口を作る自立支援
- 就労の技術を磨くところ
- 高齢者と子どもの出会いの場
- 各世代（階層）の人が利用できる
- 居場所を多くつくる
- 住みたいと言えるまち
- 水準を下げない受けとめる仕組み
- 地域内にセンター機能縮小、施設は必要
- このまちの良さ・力を生かそう
- 受け入れられるまち
- 移転について、あいりん地域の中でそういう場所を見つけるのは困難
- 他所に移すにしたら、他所の方々の多分反対がある
- だれもが受け入れられるまち・・・あるべき姿を考えていくべき
- 排除するということではなく、一緒にやっということ
- これが様々な居場所づくりにつながる
- 排除することは絶対ない
- 人として豊かに住めるような住環境を整えたい
- もっと豊かな、より人間的な生活ができるように

【シェルターについて】

- 自立支援機能をもたせたシェルター及び居場所
- 野宿者の自立支援
- 地域内にシェルターも必要
- 恒久的な視点で、場所、いま一度建替を含めて再検討して

【小学校跡地について】

- 子どもの拠点に
- 萩の森を残したい
- 学校跡地にセンター反対
- 防災拠点として絶対必要である
- プレイパーク
- 報道をうけて、小学校への移転は地域としては反対
- 小学校の跡地の件は、絶対に誤報であるということ
- 若者などこれからまちを支えていく人のための場であり、自立支援の場として活用したい
- 学校の跡地は萩の森をちゃんと残したい、子ども達の遊び場のプレイパークとして
- 運動場は子ども達の遊び場として確保
- 子ども達が大きくなったとき、若者の就労支援などもしっかりと形作っていくまち全体がコレクティブな支援、母子家庭向けの支援も生かして、まちづくりをやっていききたい
- いままでやって来た経験を生かしながら、安全なまちを作れるんじゃないか

【まちの機能について】

- 銀行、郵便局がこのまちの中にない
- いろんな機能を持ったまちとして目指すべき
- 公園とか文化施設とかコミュニティなどこれからのまちづくりを考える
- 孤立することなく勉強したり生活できるみんなで楽しめるコミュニティ作り・文化施設が必要

【センター跡地について】

- 43号線 労働センター跡にファミリーマンション
- 新今宮アクセスOK
- 新今宮駅前をクリーンに、あいりん総合センターはここに絶対いらない

社会医療センターに関すること

【更新の方向性について】

- ファミリーを呼ぶにしても住んでいる人の為にも拠点病院が欲しい
- 複数の疾患を患っている方も多く、地域内に総合病院が必要
- 病院機能の充実
- 総合病院機能を持たせる・まちを多機能にし、アクセスの良い駅前の賑わいつながっていく

市営住宅・住まいに関すること

【更新の方向性について】

- 市営住宅住民の意見をちゃんと聞くべき
- 第一住宅の住民はどこへ行く？
- 住宅は恒久的なものをつくるのか（一旦、仮住まいに移り、[現在の場所に]戻るのか）
- 住宅の建替えは一面的なものではなく、多様性を持たせる。  
→若い人、単身、家族、年寄り等
- ファミリー層が住め、子どもたちが楽しく住めるまち
- 子育て、子どもが安心して住めるようなまちを目指す
- 若者、母子など生活困窮者の住宅（ステップハウス）
- 高齢者が安心して住めるように、単身でも
- 誰もが安全・安心で住めるような場所ということが必要
- 子どもたちが安心して住めるということ
- 子や孫の世代はこのまちから出て行く、そして高齢者ばかりのまちになる
- 住宅について、従来は画一的に2DKとか3DKとか、ワンパターンだった

その他

【会議の進行について】

- 西成特区構想とは誰のための構想？人口流入（増加）目指改革
- スケジュールと決定内容に（3ヶ月）難しさがある、会議時間に余裕をもつべき
- 議論の時間に余裕をもちたい
- 有識者とは？あいりん地域に住んでるの？
- 地域住民の意見を尊重
- 時間が少ない
- 有識者という中に地域からも入っていった色々な意見が出る場も作っていくべき
- 地域住民の意見も十二分に含んでこの会を進める

【まちの現状について】

- 自転車が多すぎることや公園の使い方などの課題解決が必要
- 違法駐輪多すぎる

労働福祉センターに関すること

【更新の方向性について】

- 求人車の出入りなどを考えると今の場所がベスト
- センターの場所は動かした方がいいと思う
- センター機能を駅前からはずすべき、たとえば三角公園
- 今後の職安の役割は？
- 現在のセンターがなくなると多くの労働者に影響がある
- 日雇求人は、まだまだある
- センターは「仕事をつくる」「仕事の受け皿」センターの寄り場は日雇労働者にとって唯一の「合法の場」
- 労働の機能をどう保障するか
- これからも仕事を求めてやってくる人を受け入れられるかがものすごく大事、センターは大きな役割
- センター機能は、建物だけではなく、仕事も一緒にやってくるということが必要

全体に関すること

【更新の方向性について】

- センター利用者の声を第一に尊重すべき
- 建替えたら、住民・労働者はどうする
- 新今宮周辺を普通の町へ
- センターの二重引っ越しは、金がかかる
- 広いところもあるやろう
- 場所は動かさないと聞いた
- 労働センターの建替えに2~3年かかるが、それまでどの様にするか？
- 建替え、仮建築
- テナポ・時間軸・速度
- 場所はどこでもいいけれど、必要な機能は残す
- 馬淵生活館跡地は住宅の移転先候補になると思う
- センターの役割は今後も重要
- 縮小する必要はあるが、機能は残す
- 失業者・労働者をこれからも受け入れられるまちでありつづける？
- 何を残す、何を移す
- 総合センターは様々な機能を持っている
- 住宅・病院・センターは別々の建物、一緒になくてもいいと思う
- 医療、住宅これらの他機能との関係をどうとっていくか
- 今の場所がベスト、センターの場所は動かした方がいい、どこでも良いが機能は残す、あいりん地域内の他にも場所はあるだろう
- 仮建設での移転には、費用と時間がかかる
- 医療機関の位置づけをはっきりすることで、住宅と病院と労働センターの職安、労働福祉センターは一緒にあるべきなのか  
⇒分けてもいい

- 上部の建物をとって下部だけなら持つのでは？
- 引越や仮設など、いろんなプロセスで整理が必要
- 子育てのまちと、センターの機能が一致するかどうかが議論が必要

【既存建物の耐震性能】

- 住宅が移転すると耐震基準はクリアすると聞いています

市営住宅・住まいに関すること

【更新の方向性について】

- 低・中をお店、高層を住宅
- センター住民の安全
- 耐震問題を立ち退きの脅しに使っている
- 西成区の為になるように生活する人・働く人
- 子育て層の住みやすい家賃の減額
- 子育てができる住宅
- 子育て出来る住宅、2・3階部分は商業施設センター機能はないほうが良い
- 住宅の家賃を補助する。小中学校の生徒のいる間
- 特に市営住宅のあり方、子育てや支援住民などどう考えるのか
- ここで育っていくよう、子育てができるような住宅が必要

社会医療センターに関すること

【更新の方向性について】

- 病院は受け入れ先がある？
- 社医センと他の医療機関との違いをはっきりしては？

その他

【会議の進行について】

- 結論を急ぐべきでないと思う
- この議論はもっと積み重ねる必要有り。今年度中は短すぎる
- 会議のテナポが早すぎる。議論は積み重ねる必要。今年中では短い。結論は急ぐべきではない。
- テナポも時間も速度もスローにして、ゆっくり考えることができないか

【まちの現状について】

- 新しい店とのつきあいがうすい
- 車いすが増えた
- 物販あかん、スタンド増えた
- 人通りが少なくなった
- 堺筋こえたら左右で違う
- 西は労働、東は人が少なくなった
- 物を買う雰囲気ではない